

9月決算特別委員会で質問

東日本震災後、5月議会で要望していた川崎発のボランティアバスが岩手県釜石市へ向け8月17日から3回に分けて運行されました。沼沢議員は5月の石巻支援とこのたびの第1回ボランティアバスに参加。二回にわたる経験と被災地の声などから、今後の川崎市政の震災対策や防災対策の取り組みと計画の見直しを図るよう求めました。



◎ 東日本被災地へ

心理療法士などの派遣支援を要請

心理療法士などの専門家や相談員の派遣支援を行うよう議会で求めました。

震災後半年が経ちましたが、現地入りしてまだまだ復興には時間がかかると痛感しました。また地元からの支援要望の質が変わってきています。阪神淡路大震災の時に自殺や孤独死が相次いだことを踏まえると避難住宅におられる被災者への精神的な支援が重要です。

三浦副市長は「現地から要請があれば対応してまいります」と答弁しました。

◎ 市内公立校の全体育館に TV アンテナ設置！！

震災時などの避難所となる体育館に TV のアンテナが設置されていないことを指摘し、改善を求めています。阪神・淡路大震災の時の教訓です。避難されている方々への最新の情報提供は、行政としての責務と考えます。

来年度の予算で、公立学校の全体育館へ TV アンテナを設置することが明らかになりました。



◎ 川崎市防災・備蓄計画の見直し風れ！！

本市の備蓄計画は中学校区中心となっており基本的には小学校には物資が配備されていないことから、分散備蓄の推進と内容の見直しを求めています。

また市民のかたの不安を少しでも軽減するために団体等への放射線量測定器の貸出しも提案しています。

高層マンションなどでの孤立化を防ぐため、一定階ごとに備蓄庫の整備を義務付けることが検討されていることも明らかになりました。

帰宅困難者対策や臨海部コンビナート対策など、このたびの震災によって見直すべき課題は山積しています。

今後も震災計画・防災計画の早期見直しに取り組みます。



防災テレホンサービス稼働中！！

災害時等に屋外で放送する「防災行政無線」の内容が電話で確認できます。聞き取りにくかった時の確認にご利用ください。 0120-910-174 無料（神奈川県内の電話機からのみ利用可）携帯・PHS・県外からは 044-245-8870（通常の電話料金が課金されます）



市政にあなたの声を!!

ごあいさつ

区役所等でも案内している市民葬儀が分かりづらく説明も不十分との声を受け、事業者にも聞き取り調査し、今回の質問に、今後の抜本的見直しにつながりました。また、ボランティア2回目の釜石市被災地支援も参加し、思いを新たにしてみました。皆様の声を実現するため一生懸命働いてまいります。

◎市民葬の抜本的見直し図れ!!

●市民葬儀の内容 市民葬儀規格は次の3種類です。

種 類	A	B	C
料 金	145,000円 (税込 152,250円)	112,000円 (税込 117,600円)	92,000円 (税込 96,600円)
霊柩及び内用品	上 棺 内 張 上 帷 子 一 式		
棺 蓋	金 襷		
祭 壇 (6尺)	上3段金襷祭壇掛	中3段金襷祭壇掛	並3段金襷祭壇掛
前 机	一 式		
祭 香 具	3 組	2 組	2 組
葬 儀	10 間 内 外 とも		
葬 儀 帳	上 一 式		

そのほかに次の経費が必要となりますので、市民葬儀取扱指定店にご相談ください。

- お葬式に必要な経費
 - ①市の葬祭壇の使用料金……火葬料など
 - ②葬儀経費……写真、会葬御礼状・御礼品、霊柩車・マイクバス代、ドライアイス代など

本市では質素な葬儀を求める市民の要望に応えられるよう「市民葬儀制度」を設けていますが、祭壇のみの価格表示となっており、火葬料や骨壺など必要最小限のものが含まれていないことから、トラブルや相談が絶えません。抜本的見直しを図るよう求めました。

本市と協定を交わしている「お葬式相談センター」に寄せられる請求金額などの苦情は年々増加しています。「市民葬取扱店」として指定されている葬祭業者でも価格はさまざまであり、保管料や搬送料金で大きな価格差があります。

葬儀にかかる費用の明確化が必要です。本市の取り組みを質しました。

三浦副市長は「制度開始以来19年もたっており、市民に分かりやすいよう抜本的見直しを図る」と答弁しました。

◎葬祭扶助費の削減図れ!!

引き取り手の無い死亡人など、保護費から支出される葬祭費用は年間900件あまりで1億5千万円が支出されています。

一方では南部斎場の保管庫は12庫で稼働率は18%しかなく有効活用すれば市民の保管料金負担が軽減出来るだけでなく、葬祭扶助費削減の観点からも有効であることから、警察からの一報がいち早く入るよう緊密な連携を図るとともに市民に広報するよう求めました。また、全般的な葬祭扶助費の削減を求めました。

さらに監察医制度に言及し指定都市の中でも唯一検死・検案が遺族負担であることから、県へ改善要望するよう求めました。



◎名刺にドラえもんキャラを!!



各局にわたる様々なキャラクター画像を広報室で一元管理するとともに、名刺にドラえもんキャラクターを使用してシティセールスを行うように求めました。

ドラえもんキャラクターを名刺に利用しているのは、市長・副市長だけで担当部局などは利用できていない実態を指摘し、全市一丸となってチャンスを生かすべきと質しました。

砂田副市長は「対外的には関心も高く好評であり、今後は職員が利用できるよう藤子プロと交渉する」と答弁しました。

◎小倉地区新住居表示始まる!!

飛び番地が多く分かりづらいとのご要望から、いよいよ今秋から1丁目から5丁目の住居表示に変更になります。いただいたご要望がカタチになりました。来年度は鹿島田地区を予定しています。

古川小裏門突き当りカーブミラー設置



介護・住宅・医療など

暮らしの相談お気軽に!

TEL(599)3984
FAX(588)3222

Mail to k-numa@numa-k.com